



瓜割神楽保存会のみなさん

令和8年1月11日(日)に城山公民館成人式が地元善光寺事務局講堂で行われました。当日は、幸い降雪もなく、二十歳の門出にふさわしい日になり、会場には、第一・第二地区から99名の新成人が参加し、久しぶりの友との再会を果たした賑やかな光景が見受けられました。

城山公民館成人式開催

〜羽ばたけ新成人〜



発行所 長野市立城山公民館
電話 232-3111
編集 島田安彦
発行人
印刷所 富士印刷(株)

公民館区世帯数 (R8・2・1)
第一地区...2,756
第二地区...5,440
合計...8,196世帯



城山公民館のホームページへ



二十歳の記念に

開会前のオープニングには、新諏訪町の瓜割神楽保存会の皆様による獅子舞が披露され、会場全体が新成人をお祝する雰囲気になりました。式典では、城山公民館成人式実行委員会の島田安彦委員長から、「今日取り巻く幾多の課題は、いずれも簡単に解決できるものではありませんが、みなさんには若さ、「時間」

成人誓いの言葉



今井咲枝さん (第一地区)

という財産があります。今だからこそできることに果敢にチャレンジし、若者らしく一杯立ち向かってほしいと願っています。まずは、身近な自分にできることから着実に取り組んでください。そのためには、皆さんの一人ひとりがお持ちの限りある「時間」の大切さに気付いていただき、悔いの残らないよう、有意義に活かしていただきたいと思っています。」との式辞に続いて、各地区成人者代表から「成人誓いの言葉」の発表がありました。そして、来賓の善光寺の若麻績享則寺務総長様、長野市議会議員の和田凌弥様より新成人へのお祝いメッセージをいただきました。



高山凜虎さん (第二地区)

二十歳という節目を迎えた私たちは、それぞれが思い描く未来に向かって歩み始めています。私にはテーマパークダンサーになるという、幼い頃からの夢があります。いつ実を結ぶか分からない道のりであつても、その夢を抱いたときの気持ちを忘れることなく、これからも努力を積み重ねていきたいです。進む道は違っていても、地元で学んだことを生かしながら、それぞれの道で頑張っていきたいと思えます。そして今までお世話になった方々へ少しでも恩返しができるように、これからも成長を続けていきたいです。

現在私は、会社の経理部に在籍し、企業の運営に関わる仕事に携わっています。資格取得によるスキルアップ、後輩のサポート、業務効率化への取り組みなど、日々成長を意識しながら業務に励んでいます。うまくいかないこともあります。周囲に支えて

くれる人がいるからこそ前に進んでいることを実感しています。会社は地域密着型であり、私自身もこの地域に育ててもらった一人です。これからは社会人としての責任を胸に、仕事を通じて地域に貢献できる大人でありたいと思っています。そして将来は、周囲から信頼され、誰かが困っているときにそつと手を差し伸べられるような、心に余裕を持った大人になりたいと考えています。そのためにも、自分の成長を止めることなく、日々進化し続けていくことを誓います。



記念品の七味缶セット

当日、新成人には、第一・第二地区住民自治協議会より、七味と拉麺七味のアニバーサリー缶セットが記念品として贈られました。

特別寄稿

過去の災害を学び、将来に備える その2

長野市立博物館 原田 和彦



1月に信濃毎日新聞社から『1847善光寺地震』と

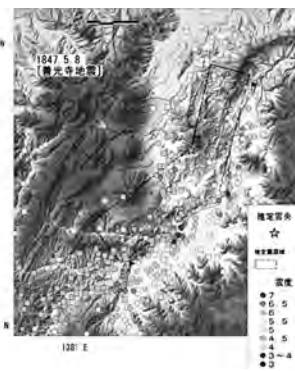
いう本を出版させていただきました。これまで、学会誌に投稿していた善光寺地震に関する論文を集め、多くの皆さんにお読みいただけるように、史料を現代訳し、表現も専門用語は極力省くことにしました。学術書として出すことは最初から考えていませんでした。一部の研究者に向けて出版したところで、地元の皆さんに成果が伝わらなければ、歴史を研究する人間として、意味を持たないと考えたからです。

さて、この中で特に訴えたかったのは、善光寺地震クラスの大災害はいつ起きても不思議ではないということです。特に2004年「中越地震」、2007年「中越沖地震」と新潟県中越地方を大きな地震が相次いで起こったことから、隣接する善光寺地震の在り方

も考え方が変わってきました。このため、地震学の研究者を中心として善光寺地震の再評価が現在も進んでいます。『館報城山第205号』にも記しましたが、「善光寺地震クラスの地震は今後1000年発生しない」と公言する論者がいることは極めて遺憾です。地震学者はその後発生した2011年「東日本大震災」を誰も予測できなかったことは皆さんもご存じでしょう。善光寺地震について、そもそもその震度について見直されていることが第一に挙げられます。最新の研究では、マグニチュード7.4から7.3に引き下げられています。また、長野盆地西縁断層帯が起こしたものと言われていたことも見直されています。新たに「震源域」という言葉が使われるようになり、従来よりも北に震源域が設定されています。また、震源という言葉も見直され、「震央」という言葉に置き換えられ、善光寺

この説に、私は歴史学徒として史料を検討する中でもっともなことだと考えています。まず、地震の規模ですが、本震は、従来の説よりも引き下げてしかるべきと思います。特に善光寺門前町の被害をこれまで大きく論じてきましたが、これは二次被害である火災が大きかったためであり、火災が発生する前の地震被害だけの史料を抜き出すと、現在の長野駅あたりの石堂町に至ると、ほぼ被害が無いという状況がわかりました。善光寺本堂の被害はほとんど無く、大本願や諸堂、院防については、火災による被害が大きかったのです。

このように、従来の善光寺地震像は書き換えられています。正確な、最新の情報(研究)を更新しつつ、いつ起こるか分からない地震に備える必要があるでしょう。



地震の震央は野尻湖の東側と考えられています(松浦説)。「弘化善光寺地震の長野盆地での震度分布図」(内閣府中央防災会議資料より 松浦氏作図)



権堂村の名主永井善左衛門によって成立した『地震後世俗語之種』によると、永井は地震の時には、善光寺の仲見世の自分が出店した店にいて被災した。そこで、権堂村にある自分の家の被害を不安に思い、早速引き返すのですが、途中の寺院が潰れていたが、自分の家は無傷であったとあります。すなわち、権堂でも地震被害は少なかったのです。

「燃え上がる善光寺町と避難した町民」(『地震後世俗語之種』より) 震源域については、私は松浦説よりももっと西に伸ばしたほうが良いと考えます。すなわち、旧中条村、信州新町は逆に被害は甚大と考えています。この点はまた触れましよう。

「折々日記 繋がれ想い」 今井 一幸 名前は(琉亜)。女の子です。昨年12月7日に家族が増えました。沖縄生まれの5ヶ月のミニチュアダックスフンドです。遠く寒い長野にどうした縁があつたのか? 長男家族が飼い始め、平日の昼間だけ世話をする高齢者夫婦に、近頃ではすっかり懐き、信頼しているように見受けられます。愛おしく、果たせる役目があることが嬉しい。家庭、学校、職場、コミュニケーション等の場で、それぞれの関係を築くには、信頼すること信頼されるのが大切で大事なことかと思えます。大事小事に関わらず、物事をより円滑にするために、人々は暮らしの中で当たり前のように先人の想いを受け継いでいると感じる時があります。江戸時代の人々は、制約のある生活の中でも、地域社会の繋がりを大切に、工夫を凝らした生活と独自の文化を楽しんでいました。小さな喜び、役目を見つけ「今」をひたむきに過ごせればいいなあ〜と想う。

『館報城山第206号』 1ページ自主サークル名訂正のお知らせとお詫び 誤 気軽にカジュアル英会話 正 気楽にカジュアル英会話

令和8年度 城山公民館成人学校 受講生募集要項

成人学校受講生を募集します。皆様のご応募をお待ちしています。

① 募集講座

令和8年度募集の24講座

② 講座学習の日程

(1) 3学期制の講座 (各学期12回、年36回) ※

- ・1学期 4月15日(水)～7月17日(金)
- ・2学期 7月27日(月)～11月11日(水)
- ・3学期 11月12日(木)～3月9日(火)

(2) 2学期制の講座 ※

- ・ウクレレをはじめよう ・ウクレレのある生活
- ・からだ整うポール de ストレッチ
- ・たのしいハーモニカ教室 ・憧れのギターライフ
- ・悠遊 BONSAI「盆栽」 ・四季に愛される盆栽とわたし
- ・書道「写経入門」 ・郷土史「善光寺」
- ・New人物画

※講座ごとに日程が異なる場合があるため、
詳細は公民館にお問い合わせください。

③ 講座時間 1講座2時間

- (1) 午前の部 9時30分～11時30分
 - (2) 午後の部 13時30分～15時30分
 - (3) 夜間の部 18時00分～20時00分
- ◎火よる太極拳は、18時30分～20時30分

④ 受講料 1学期8,000円

⑤ 教材費等 講座によりテキスト代・教材費を実費負担

⑥ 受講申込

- (1) 期間 4月6日(月)
- (2) 場所 城山公民館 102教室
- (3) 受付時間
 - ・一次募集 午前・午後講座 9時30分～11時30分
夜間講座 18時00分～18時30分
 - ・二次募集 午前・午後講座 14時00分～18時00分
夜間講座 18時30分～19時00分
- (4) 受講料納入 1学期または前期受講料(8,000円)を各講座の開講日に納入ください。

令和8年度 城山公民館成人学校 募集講座のご案内

講座名	曜日	時間	定員	講師	内容
1 ゆっくりじっくりEnglish	月	前	15	徳 武 久美子	もっと目を、外へ、世界へ、向けてみませんか?そして、日常とは違う時間を楽しみましょう。
2 楽しくソーイング		前	20	西 脇 育 子	ハンドメイドの楽しさを味わいましょう。洋服地でも和服地でもOK。オリジナル作品は素敵です。
3 洋画		前	25	小 池 一 秀	水彩や油彩で、風景や静物を楽しく描いてみましょう。
4 ウクレレをはじめよう		前	15	大 門 竜 大	ウクレレを使い、童謡から歌謡曲まで、なじみのある曲を弾いていきます。基礎からはじめます。
5 太極拳		後	25	中 沢 邦 子	太極拳は、誰でもできる武術・健康法です。楽しく心も身体もリラックスさせ、健康増進につなげましょう。
6 ウクレレのある生活		後	15	大 門 竜 大	ウクレレを使い、童謡から歌謡曲まで、なじみのある曲を弾いていきます。経験者コースになります。
7 からだ整うポールdeストレッチ		後	20	西 澤 真由美	運動習慣のきっかけづくり。ストレッチ用ポールを使って身体のゆがみを整え姿勢改善を目指します。
8 水彩画「写生」	火	前	20	小 池 一 秀	風景や静物の写生を、楽しく水彩で描いてみましょう。
9 たのしいハーモニカ教室		後	15	藤 澤 寛 作	哀愁漂う懐かしい音色のハーモニカ。初歩から学び童謡・唱歌など楽しく演奏してみませんか?
10 憧れのギターライフ		後	15	大 門 竜 大	ギターを使って、なじみのある曲を演奏していきます。経験者コースになります。
11 お仕事帰りにたしなむ茶道		夜	20	西 村 恵 里	夜の静かな教室で和敬清寂を学んでいます。釜の湯の沸く音(松風)を聞きながら一服しませんか。
12 火よる太極拳		夜	25	吉 田 ますみ	夜の時間を有効活用して太極拳でカラダを元気に。1年後の自分に期待を込めて始めてみませんか。
13 茶道	水	前	25	十代田 綾 子	基本の作法から楽しく学び、気がつけば雨の音も以前とは違って聞こえる…そんな体験をしてみませんか。
14 真子の楽しい英会話		前	20	古波田 真 子	簡単な英語で脳トレ!外国人との交流も楽しめる!仲間と学び、毎日を豊かに!
15 悠遊 BONSAI「盆栽」		前	15	山 本 千城子	自然に生きる植物本来の姿を追求し、植物の生きる戦略を探しながら変化する樹を作ったのしむ。
16 四季に愛される盆栽とわたし		後	15	山 本 千城子	鉢の中に自然の姿を縮小し、芽が出て花が咲き、実がなる。こんな四季折々のたのしみ方を提案します。
17 書道「写経入門」	後	20	岡 村 幸 苑	『般若心経』は佛のこころ。写経を通じて美しい細字の世界をのぞいてみませんか。	
18 かんたん着物リフォーム	木	前	20	森 尻 恵 美	単筒に眠る着物を服や肌着にリフォームします。直線縫いだけの簡単なものからコート等まで。
19 水彩画初級		前	25	小 山 清	初心者の方々か描画の基本的な点を学びながら、楽しく同好の皆さんと水彩画を描いてみましょう。
20 郷土史「善光寺」		後	20	御子神 光 照	善光寺を通して仏教の基礎的な知識や考え方を学び、善光寺についての理解を深める。
21 New人物画	夜	20	西 澤 剛	初めての人から少し描ける人まで、モデルさんを見ながら描く楽しさを一緒に学びましょう。	
22 こころ華やぐキルト	金	前	15	上 石 利 子	ポーチ・バッグ・部屋を飾るタペストリー、自分の時間、手作りで楽しませんか。初心者歓迎。
23 書道を親しむ		前	24	川 村 文 齋	中国の古典と調和体を行書や楷書を楽しく自身のクセを生かして筆字を和気あいあいと学びましょう。
24 囲碁入門		後	15	羽 田 晋 一	男女問わずに大歓迎。囲碁はミラクルな陣取り遊びです。碁友と共に、楽しく脳を若返らせましょう。

□ は3学期制 ■ は2学期制 注1 (18:30～20:30)

街並み散歩 その3 (東町編)

善光寺から中央通りを南に下った大門交差点で東西に交差する国道 406 号線は、長野市の都市計画道路「県庁大門町線」である。区間は県庁前交差点を起点に北上し、信大教育学部前交差点を東に折れ、田町西交差点までの 1680m。

その沿線にあたる東町は、古くは問屋街だった。また、明治 33 年(1900)に市内最初の魚市場が開設されたのも東町であった。

武井神社と国道を挟んだ南側に建つ「門前商家ちよっ蔵おいらい館 おいらい館」(長野市立博物館付属施設)を訪れてみた。

館内の説明文によれば、『油問屋三河屋庄左衛門商店と称

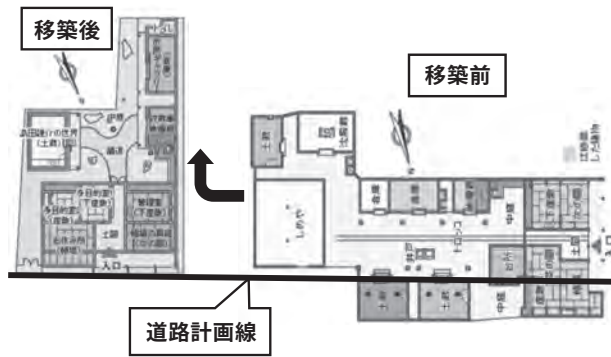


門前商家ちよっ蔵おいらい館

して、江戸時代中期頃から菜種油製造問屋で、菜種油(水油)や蝋燭等を扱っていた。戦前までは長野市内で唯一の大規模製造所で、大正期には年間約 660 石(119,057 リットル)の油を製造していた。』とある。この説明文を読んで、館報城山の前号(令和 7 年 12 月 1 日発行)の「街並み散歩 その 2 (新諏訪町編)」の取材時に参考にした『新諏訪町 70 周年記念誌』(平成 18 年刊行)に『龍宮淵水車屋の盛衰』と題した記述があったことを思い出した。同書には『裾花川の水利を利用し搗屋(つきや)の地に明治 32 年(1899)頃、東町の三河屋本店が大資本を投じ、中堰の中間の土地と水利権を買って、県下最大の設備と称せられた製油工場を建設し、盛んに菜種油、胡麻油を搾った。この工場は操業約 38 年で昭和 12 年(1937)閉鎖した。』とあり、地元の方による当時の回想文には、『製油工場の前を香ばしいにおいを嗅ぎながら泳ぎに通った。』と綴られていた。

とここで、現在は国道の歩道沿いに違和感なく建っているが、関係資料を調査したところ、本市が旧商家の歴史的な経緯を考慮し、移転保存に至ったとのこと。移築前は、市道東町線の東側に西面していた母屋・土蔵を 90 度回転させて東側の現在地に曳移転し、母屋を国道に北面させ、土蔵などを南側に移転させている(一部の建物は除却)。

移築前後の平面図(市立博物館HPを基に作図)



ラッテとふしぎなたね	庄野 ナホコ
不等辺五角形	貫井 徳郎
サイレントシンガー	小川 洋子
鹿集落のY家	遠坂 八重
食物繊維たっぷりおかず	萩野 恭子
エンドロール	今野 敏
まささんのソフトクリーム	くどう れいん
颯雨の人	伊与原 新
本でした	又吉 直樹
鎌倉茶藝館	伊吹 有喜
えかきになりたいねずみくん	なかえ よしを
双死相殺	西澤 保彦
閲覧厳禁	知念 実希人
豆腐&お揚げさんの大満足レシピ	新谷 友里江
みちゆくひと	彩瀬 まる
せいのサウナぼかぼかや	たにむら のりあき

新刊図書のご案内



茂菅大橋より撮影

新諏訪町の旭山橋を里島側に渡った県立長野商業高校第二グラウンド北側の裾花川の流れの中に 2 脚が建っている。『長野市誌第 6 巻歴史編近代 2』によると、同鉄道が運行されていたのは、昭和 11 年(1936) 11 月から昭和 19 年 1 月までの足掛け 8 年余り。太平洋戦争の戦況悪化に伴い、運行期間は短かった。場所柄、人目に触れずひっそりと 90 年余の歴史を感じさせる遺構である。

※善光寺白馬電鉄の通称名

あちこちスナッパ 旧善白鉄道(※)の橋台

編集後記

昨年は「巳」年だったはずが、まるで「熊」年になってしまったようでした。今年も午年です。午は一日の起点で、前後に二分するのが役目ですが、干支の午年は、「躍動」「成功」「勝負運」を象徴し、物事も順調に進み、前向きな行動が成功につながる年とされています。

そこで、年度替わりを迎え心機一変。気概は、春の木々の芽吹きのように、昨日より今日、今日より明日、という意気込みで「館報城山」の編集に取り組みたいと思います。(萩原)



令和 7 年度 館報編集委員

島田安彦 館長

山口茂文 委員

萩原道朗 委員

今井一幸 委員

山口美緒 委員

